



令和7年 1月号
高崎中学校
学校栄養職員：亀澤

1月のテーマ：「感謝して食べよう」

1月24日～30日は全国学校給食週間です。学校給食の意義や役割などについて知り、食べ物やそれに関わる人への感謝の気持ちを持って、食事をしましょう。

学校給食の始まり

日本の学校給食は、1889（明治22）年、

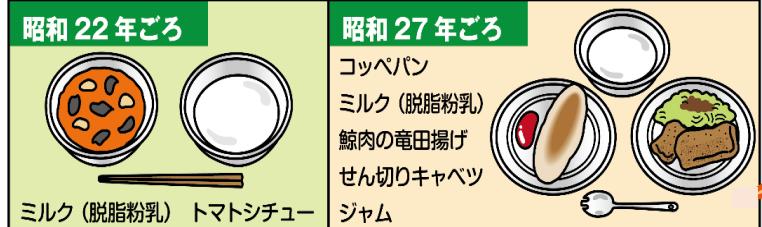
山形県の大督寺というお寺の中にあった小学校でお弁当を持ってこられない子どもたちに食事を用意したことが始まりとされています。

その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するため各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなりました。



支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946年（昭和21年）に、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。



学校給食は教育活動に



1954（昭和29）年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。



● 給食には、たくさんの学びが詰まっています…

